

骨粗しょう症のお薬に注意!



作: M.N 最近服用されている方が非常に増えている薬が、骨粗しょう症のお薬です。中でも「ビスホスホネート系」の薬剤は、たいへんポピュラーで優れた薬ですが、歯科の外科的治療(抜歯やインプラントなど)を受けると、顎の骨が部分的に死んでしまい(壊死)、そのまま放置するとばい菌が入り、骨が腐ってしまうという重大な副作用を起こす恐れがあります。

ビスホスホネート製剤

アクトネル® 錠剤・注射液 株式会社、特許出願済	フォサマック® 錠剤・注射液 株式会社、特許出願済	ベネット® 錠剤・注射液 株式会社、特許出願済	ボナロン® 錠剤・注射液 株式会社、特許出願済
ボノテオ® 注射液 株式会社、特許出願済	ボンビバ® 錠剤・注射液 株式会社、特許出願済	リカルボン® 錠剤・注射液 株式会社、特許出願済	本薬が効果的であるため、ここに記載されている薬品や商品がすべてではない可能性があります。本薬以外の薬品も併用してください。

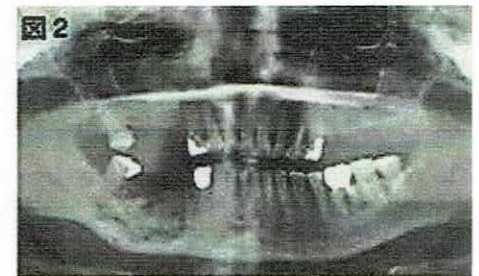
以下の注射を定期的を受けていらっしゃる方もお知らせください。
 (この注射製剤を使用されている方は、お薬手帳で確認できます。)

●ゾメタ® 錠剤・注射液	●ボンビバ® 錠剤・注射液
●フアラリア® 錠剤・注射液	●ランマーク® 錠剤・注射液
●ボナロン® 錠剤・注射液	●リクラスト® 錠剤・注射液

【骨壊死を起こした口腔内】

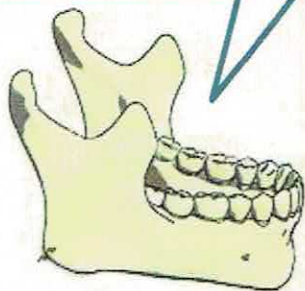


【骨壊死を起こしたレントゲン写真】



なぜ顎の骨に骨壊死が起きるのでしょうか?

噛む力が加わるために生ずるひずみを解消するために、本来は速い代謝で健康を保っている顎の骨



ビスホスホネート製剤は代謝を止めてしまうため、古い骨のひずみが温存され、こうしたヒビや骨折が骨壊死に伴う感染を招いているのではないかと考えられています。

予防法

- ◆ 服用開始前に必要な歯科治療を終わらせる。
- ◆ 歯ブラシとご自分の口腔内に必要な補助用具を用いて、毎日の歯磨きを欠かさずに行う。
- ◆ 定期的なメンテナンスを受け、口腔内の細菌を減らし清潔に保つことでお口の健康を守る。



白代り2人に1人が骨粗しょう症と診断されていますが、服用する薬によって変わるため、治療法が変わる場合は教えて頂けると幸いです。	稀な副作用としては、骨壊死は、困ります。要注意。	予防のために定期的なメンテナンスをし、お口の中を清潔に保つことはとても大切です。M.Y.	骨粗しょう症予防の1つに、「かかと押し」があります。時々やります。	お薬の副作用には気を付けてほしいです。A.Y.
スタッフより	骨粗しょう症に悩まれないよう日頃より心がけてほしいです。	よく噛めるために健康な顎の骨や歯を大切にしてください。	骨粗しょう症の薬との併用は、慎重に行ってください。お薬手帳も併せて確認してください。教えて下さい。H.N.	健康を保つ顎の骨は大切で、「骨壊死」(注)A)